

講義 3 寺川志奈子さん

2021年1月24日14:20-15:25

学童期・思春期の発達と生活

——支援学校中学部における“自分づくり”

寺川先生からは、いきいきとした実践、本人の動く心を通して、発達的な特徴や関わり・支援で大切にしたいことを学びます。「〇歳で△△ができる」「〇歳だから□□が大事」という限られたものではなく、本人がどのようなことに価値をもって生活しているのか、自分と他者をどのように見つめているのかを知ること、**「発達を理解する」という見方をゆたかにしてくれるお話です。**今回は、9,10歳ころの発達の節に視点をあてて、学童期・思春期の発達と生活でどのようなことを大切にしていけばよいのか、生活を生きる主人公としての“自分づくり”から考えあいたいと思います。

(講師プロフィール)

鳥取大学地域学部教授。大阪府出身。京都大学大学院教育学研究科博士後期課程単位取得退学。**1996年**鳥取大学に赴任。**2011年**地域学部教授。専門は発達心理学。学生時代から発達研究とともに、乳幼児健診や保育所、学校等において子どもたちの発達相談に携わる。「かけがえのない“子どもらしさ”を大切に太らせる支援について、みなさんと共有したい」と語る。人間発達研究所会員。

著書

『新版 教育と保育のための発達診断・下 発達診断の視点と方法』（共著、全障研出版部、2020年12月）

『自閉症児・発達障害児の教育目標・教育評価 1 子どもの「ねがい」と授業づくり』（共著、クリエイツかもがわ、2019年）

『七転び八起き「自分づくり」：知的障害青年期教育と高等部専攻科の挑戦』（共著、今井出版、2017年）



人間発達研究所主催

人間発達講座

自分づくりを生きる わたし 第3回